



法政大学 校友連合会報

http://www.hoseinet.com

発行・法政大学校友連合会
発行人 岩部金吾
編集人 竹内實昭
〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-3
法政大学九段校舎内4階
電話 (03) 3264-1831 (代表)
FAX (03) 3264-4770
振替口座 00100-8-89141



ウェルビーイング 快適な社会の創造に貢献する

卒業生との交流でパワーアップ



法政大学総長・理事長
平林 千牧さん

―あけましておめでとうございませう。ここ数年の大学の発展ぶりには目を見張るものがあります。改革続ける法政大学の姿と母校卒業生とのかわりを中心にお話いただければと思います。―
岩部 それでは総長からどうぞ。
平林 いや、これは人生の先輩からどうぞ。

―まず最初に読者の皆さんにお二人の人物をより理解していただくために、生い立ちの一端などお話をいただければと思います。―
岩部 私には法政大学には2年遅れで入学しました。家が浄土真宗の安楽門徒で仏教に感化を受けたながら育ちました。祖母が熱心な信者で崇徳学園に進み、古寺巡礼への思いは今も続いています。本を読むのが好きで家にある文学全集など片端から読んでものです。物書きになりたかったが母親の勧めで実学を



法政大学校友連合会会長
岩部 金吾さん

読書が好き
法政大学で学び
よき師に出会う

岩部 私も体には自信があるというところで、法政大学の経済学部商業学科に1952(昭和27)年に入学しました。卒業は1956年です。その後の人生にとって影響を受けた先生は心理学の乾孝先生です。鎌倉山の先生のお宅によく伺いました。そこのお話は思ひ出深いものです。
平林 私は信州の上田で育ちました。小学校2年生のときに父親を亡くしました。養父は当時ビジネスに成功した人ですが、学校教育は義務教育で十分という考えの持ち主でした。当時はもちろん進学については親の考え方が絶対的でした。

新しい時代にこえて 教学改革進む

学びたくなる大学に

から、おそらく私の場合は実父の記憶が大きかったように思います。
岩部 確かに家庭の影響は大きいですが、読書好きになったのは父親の影響です。家には日本文学全集や本が沢山ありました。
平林 実父が詩人だったこともあり、僕は本を読むことが楽しく、好きでした。町に貸し本屋が3軒ほどあったりしましたが、そのほとんどの本を読んだと思います。他方、山登りや陸上競技をやっていた、比較的元気だったと思います。

岩部 先生は法政大学の

岩部 先生は法政大学の

岩部 先生は法政大学の

謹賀新年 A HAPPY NEW YEAR

将来を見据えて トップクラスの 大学に

岩部 先生は法政大学の

岩部 先生は法政大学の

岩部 先生は法政大学の

志と情熱と信頼を キーワードに感性を磨く

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。

岩部 私は家庭での教育、育ちの中で死生観から、自分一人の力で生きられない。人に生かされているという気持ち、大切に生きてきた。これまで生かされてきたものに、お返ししたい。卒業生と大学のかかわり、大学にいい思い出を残していただく。学校に卒業生がいないと、大学は、どのように育つのか、と大学を訪ねることが楽しみにしています。



2007年

オール法政新春の集い

日時：2007年(平成19)年1月20日(土)
12:00~(受付開始11:00~)
会場：帝国ホテル(孔雀の間)
東京都千代田区幸町1-1-1
電話 03-3504-1111(代表)
会費：15,000円
(家族・同伴者は10,000円)
※特別ゲスト 平尾昌晃氏

※お申し込み・お問い合わせは、
校友連合会事務局へお尋ねください。
TEL 03-3264-1831
FAX 03-3264-4770

主催：法政大学校友連合会

新春対談

(次ページへ続く)

新春対談

—1面から—

社会の多様性に応える

親御さんが子弟を入学させたくなる大学に

平林 社会に出てから再び

の感覚、子供の精神状態を

大学で学ぶという時代、日本
の社会のあり方が変わって
きています。日本の高等
教育は成熟段階に近づいて
います。昔は、学歴も世代
間の差がありました。親が
が小学校卒だった時代から
中学が義務教育化され高
校、大学へと学歴が上昇し
て来ましたが、明治、大正、
昭和の初期の時代それぞれ
に子供と親の間に世代間の
学歴差があり、子供が大学
に入るのが生活水準を上
げることになる。学歴の上
昇といふ社会への就職とい
うことに将来の夢があっ
た。今の大学生の世代は違
います。親の大半は大学卒
で親子との間で学歴差は多
くありません。子が大学で
学ぶことが即生活水準の向
上なのか、このような親

平林 社会的に法政大学は
どのように受け入れられて
いるか。この大学が持つて
いるミッション、ビジョン、
この大学の誇るべきもの、
これが最も重要で、
大学を誇りに思うように
学生を育てていくことが大
切です。社会で活躍する卒
業生を尊敬、誇りに思う、
大学を出てハッピーだった
と思う、社会的評価、これ
が私学のコアだと思いま
す。私立大学として126
年の歴史と伝統があり、社
会の各分野で活躍している
卒業生38万人がいるので
ある教育機関注3として社
会のニーズに応えていくこ
とも大切です。1950年
代には法政大学は6学部し
かありませんでしたが、1
999年以降学部新設を進
め今年4月には12学部にな
ります。現在、工学部の改
革に取り組み生命理工学
部、理工学部の新設作業を
進めています。今後も英語



岩部金吾会長
「素晴らしい大学の姿を
見てほしい」

時代の変化に対応して
魅力ある大学にする

岩部 法政大学のよさを絶
えず発信していかなければ
なりません。卒業生組織で
ある校友連合会はお互い
が同じ学び舎の同窓として
交流してきました。そして
何を目標に、また目的に活
動していくか。ミッション
として発信しなければと思
います。そこから校友の団
結も生まれて来るのです。
親睦も大切ですが、なによ
りも大学に貢献すること、
それには目標を持って、「校
格」を上げるには何をすべ
きかと行動することが大切
です。

平林 これまでのものづく
りの時代から、21世紀に入
って社会ではまったく新し
いソフトが大切になってき
ています。これを担う人材
を社会に輩出していかねば
ならない。生涯学習を求め
る社会ともなってきたとい
うのが、このような親

まず見て欲しい母校
卒業生の交流も活発

岩部 大学と卒業生との役
割の展望では、ホームカミ
ングデーなどで、素晴らしい
大学の環境、校舎など変
革した大学の姿を卒業生に
見てもらうことも大切で
す。注4卒業生同士が接触、
交流する場をもつための様
ざまな催しも開いていきま
す。

平林 オビニオンリーダー
として、卒業生は活躍して
います。法政フェアでは広
島でも、札幌でも多くの卒
業生が駆けつけてくれました。
地元の企業の重責を担
う方々ともお逢いしまし
た。海外でも先日、アメリ
カ研究所のことでサンフラ
ンシスコのOBの組織から
手紙をもらいました。大学
への期待は大きいですね。
ヨーロッパでもロンドンに
拠点があります。今後はチ



平林千牧総長
「大学を誇りに思うように
学生を育てることが大切」

◆出席者

平林千牧(ひらばやし・ちまき)さん

法政大学総長、理事長

1935年生まれ。60年法政大学経済学部卒業、
64年大学院社会科学部経済学専攻修了課程修
了、71年博士課程修了、助教を経て80年教授、92
年経済学部長、97年大学院議長、99年常務理事。
2005年法政大学総長・理事長に就任。

岩部金吾(いわべ・きんご)さん

法政大学理事、法政大学校友連合会会長

1932年広島県生まれ。
56年法政大学経済学部卒業、59年文化シヤッター
入社。常務、専務、社長を歴任し現在は代表取締
役会長。社団法人日本シヤッター・ドア協会会長。
法政大学理事。

司会 竹内實昭(62年経済学部卒)
録音 宮本幸彦(63年経営学部卒)
写真 伊藤正義(65年社会学部卒)
於：東京・九段校舎総長会議室

中心の、あるいはスポーツ
科学中心の教育プログラム
の具体化にも力を入れま
す。他大学に先駆けてキャ
リアデザイン学部の創設な
を進めています。今後も英語



(注1) 大学の
評価が問われる



(注2) 経営革新フ
ォーラム21で連携

●大学院特定課題研
究所

(2006・6現在)

テーマと期間を絞り込ん
だ研究プロジェクトや、学
際的課題に取り組んで
いる。
政策科学研究所
産業集積研究所
政策評価研究所
エイジング総合研究所
生産システム研究所
環境経営研究所
人間情報研究所
フォトニックデバイスシ
ン研究所

ミレニウム研究所
エコ地域デザイン研究所
職業能力開発研究所
水と人間の安全保障研究所
ウェルビーイングデザイン
研究所
建築都市再生研究所
ゲノム情報数理研究所
中国基層政治研究所
NPOプラットフォーム研究
所

その他に終了した研究と
して次のものがある。
信用リスク管理研究所
バイオフィンフォーマティクス
研究所

(注5) 法政大学校友憲章

われわれ法政大学校友は、母校の伝統風土であ
る「よき師よき友」といふ結核の精神を継承し、
21世紀の「ウェルビーイング」の開かれた法政21の実現の
もと、母校の校格を向上させることを目的として、
強力な支援体制を築く。また、「母校への誇り、
母校愛、母校への貢献」を共通理念として、校友
が一体となった活力ある組織を形成するものであ
る。

(行動方針)

一、校友は、世代・出身・立場を超えた共通の理
念のもとで、母校への貢献を果たす。
一、校友は、母校への誇りと母校愛を醸成し、母
校へのロイヤリティを高めることを使命とす
る。

一、校友は、「開かれた法政21」における社会と
の接点となり、これを推進する。
一、校友は、強力な連携と支援体制により、母校
の校格を向上させる。
一、校友は、母校の教育改革を後押しし、その実
現に向けて物心両面で協力する。
一、校友は、相互に連帯意識をもち、魅力的で活
力あるネットワーク組織を形成する。

法政大学校友連合会

ワイヤレス・ネットワーク

通信研究所

宇宙環境工学研究所

コンピュータグラフィック

マネジメント研究センター

法政大学情報技術(IT)

研究センター

法政大学アメリカ研究所

法政大学地域研究センター

法政大学国際日本学研究所

マイクロ・ナノテクノロジー

研究センター

法政大学エイジング総合研

究所

法政大学大学院エコ地域デ

ザイン研究所

●産学連携の窓口とし

て、法政大学研究開発セン

ターがある。

(注4) 卒業生も使える大学施設
白馬山荘・談話室など

母校で学び、学んだ。そ
して、学び直す。そんな時
代に迎える母校。講座・大
学院、施設いろいろ。
卒業生を歓迎します。
エクステンション・カレッ
ジ(生涯学習部門として多
彩な講座を開講している)
03・5261・5104
大学図書館(市ヶ谷多摩、
小金井の共通図書館利用カ
ードを発行)
03・3264・9810
スカイホール(ホアソナ
ドタワー26階)
教室・会議室(勉強会や同
窓会などでの利用)03・
3264・9336
スタッフクラブ(食事、飲

法政オレンジCAMPUS
カード・受付中!

2006年4月から「法
政オレンジCAMPUSカ
ード」が発行された。この
カードは、法政大学が大手
のカード会社(JCB、D
C、UIC、三井住友)と提
携して発行する卒業生、在
学生、父母、教員など関係
者専用のクレジットカード
です。
また、加入者には、講座
割引、オレンジコミュニテ
ィーT無制限サービス、全
国協力店での優待、抽選に
よるスポーツ招待など多彩
な大学独自のサービスもあ
ります。従来の法政カード
をお持ちの方で切り替え希
望の方は事務局までご連絡
をください。

こんにちは！

卒業生訪問

大学卒業後、フランスのグルノーブル大学院で経済を学び、今、脚光を浴びているゴルフメーカーを営んでいる卒業生がいるとの話を聞いてお訪ねした。会社は、東京・新橋駅から「ゆりかもめ」線に乗り、約18分、テレコムセンター駅に隣接している青海フロントティアビルにある。会社はフレックスタイムということで、朝の出勤時には、三々五々、ラフで清潔な服装の社員がICカードでドアを開け部屋に入っていく。背広にネクタイの社員は見当たらない。



テラーメイド ゴルフ株式会社
代表取締役社長

菱沼 信夫さん(55歳)

(法政大学経営学部1972年卒・グルノーブル大学院経済学部修士課程1978年終了)
社長もスポーツシャツにアディダスブランドのセーター姿だ。さわやかで若々しいスポーツマンといった印象。ゴルフメーカーの経営者は、今売上げだけでなく、企業価値の点においてもNo.1を目指すべく、事業を展開している。

「社員には仕事以外のことでストレスがたまらないように、ジーンズ、Tシャツ以外であれば、礼儀さえわきまれば服装は自由です。満員電車でもまれて出勤してすぐ仕事にかかれな

ゴルフが好きになる環境
仕事を楽しむ

海外への憧れから
日仏学院、グルノーブル大学へ

「法政に入学したきっかけは、簿記のある経営学部があったからです。大学は学園紛争が激しい頃で、休講も多く、勉強どころではなかった。」「父親は自由業で、商売を母に任せていた。土日になると、冬は湯沢へスキー、夏は山歩きに

よく連れて行かれた。映画をよよく見た。その中で森繁久弥が出演していた『社長シリーズ』で社長が羽田がフランスの留学先を探してい

たところ、グルノーブル大学院にスキー学部があることを知り、「72年法政卒業と同時に、フランススキーチームのコーチ・監督であったジョルジュ・ジュベールのいたグルノーブル大学スキー学部に入学した。父親には1年間フランスに留学したいと願ひ出て仕送りを受けたが、その後は、リゾート地でのスキー指導など自力で大学、大学院と進んだ。」「フランスでは学生食堂も安くフルコースでも150円くらいです。学費も安いので生活しやすかった。」

大学院で「日本のスキー市場」をテーマに論文

「スキー学部では、スキーリゾート開発、スキー場経営・マネジメントについて学び、76年に同大学経済学部経済環境研究室に入った。このときにまとめた論文が現在も私にとって大きな財産になっている。」「指導教授のリカード先生から論文テーマを決めなさいといわれ『日本のスキー市場』と決めて提出したところ『それはいい。私が資金を集めてあげる』と、日本への渡航費から市場調査費用など一切を用意してくれた。日本の流通機構の実態報告やこのときの調査結果は、フランスで大いに評価された。78年大学院修士課程終了後、当時、フランスからの通信としてスキー業界情報を日本の雑誌に書いていたのだが、同年、フ

サロモン本社に
就職、日本法人
の社長に

「そこで、今、君は何をしているのだ。サロモンで仕事をしないかと誘われ入社した。サロモン会長は論文を読んでいて、私の名前を知っていたのです。そこで、日本法人設立のための準備業務をやり、80年、29歳のときに、サロモンスポーツ販売株式会社を日本に設立して、代表取締役となり日本市場を任せられる。」「はじめは、商社の圧力が強く、小売店への直販は難しかった。そこで商社と契約のないスキーブーツを売った。これがヒット。初年度だけで5億円を売り5千万円の利益を上げた。当時、スキー関連用品での売り上げ利益では全世界の80%を日本支社が稼いでいた。」「日本の商習慣では、メーカーからの直接仕入れはなく、商社、卸など何段階もの会社を経由して小売店に商品が届けられるような複雑な時代でした。しかし、小売店の意識調査ではメーカーからの適正価格での仕入れ希望が圧倒的だった。マーケティング調査から日本市場での戦略に自信があったし、これが成功した。」

何ごとも一懸命
チャンスは誰にでも

「86年にサロモン本社が米テラーメイド社を買収、日本でテラーメイド事業部を発足させた。このときに、スキー担当の傍らゴルフ担当となる。その後は、ゴルフビジネスに専念。92年テラーメイドスポーツ株式会社と合併し、93年テラーメイドゴルフとなった。そして、97年アディダスと合併。現在は、テラーメイドゴルフの責任者として、『Tiger Woods』ブランドのアジア統括業務に従事し、日本選任のマネジメン

「社員にいつも言っているす。われわれのビジネスは、メーカー、小売店、ユーザーの三層それぞれにメリットがなければならぬ。と品質のよいものを、適正価格で提供することです。マーケティングには力を尽くしました。テレビではサロモンのスキー番組を提供し、ユーミンの『私をスキに連れてって』は、女性をスキーの魅力へと誘い、スキーブームとなった。

「聞き手/竹内寛昭・宮本幸彦 写真/伊藤正義」

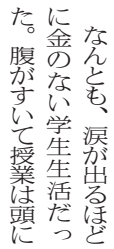
校/友/随/想

青春の学び舎から社会人となって幾年。その人生の転機など近況随想をお寄せいただいた。

古希なんのその法政の雑草精神健在

石倉 義朗さん

(1956年法学部卒)



なんとも、涙が出るほどに金のない学生生活だった。腹がすいて授業は頭に

入らず、楽しみは学食の20円の力ケンバだった。ある日、たまたま授業で隣り合わせた実重君が、こ

ともあろうに45円の肉井をこちそうしてくれたことか

ら彼を敬い、何でも彼の好意でここを拠点にし、

ていた40年前の私に重なるものがある。

今は、キールの女子アナ一号などと周囲に言われ！

講座の講師を務めて18年目になる。TBS卒業後は局

のアナウンススクールや朗読グループ、ワークショップ

ブなどの講師業も加わり、若者との付き合いの多い日々である。一方、ボアソナードタワー・スカイホール

の朗読ライブを皮切りに

法政大学には自主マスコ

いはフナウンサーを目指し

学生にとっては単位にならない講座であるが、マスコミを自指す熱い学生が大勢いる。その思

野球アナの夢からゴルフアナウンサーに

中野 好明さん

(1968年経営学部)

広告研究会に籍を置きながら大学での大半は神宮球場で野球の応援に精を出しておりました。

法政一高時代に野球選手への道を諦めていた私は、神宮で活躍する選手は憧れでもあり私の分身でもあったのです。

その日々の応援の情熱がやがて心の中に野球のアナウンサーへの夢と広がっていったのです。

今4社に席を置いてサラリーをいただいている。

昨年、日経に「人口減を生きろ」という特集が組まれ、私のことに触れていたが、古希を迎えてもこうした愚直なプロデューサー稼業で生きていくのは、法政の雑草体質が身に

ついていくからだろうか。

今、体力、気力、思いのある限り読みつづけた作品である。

*藤田恒美さんは1966年アナウンサーとしてTBS入社。広報部長を歴任後、2003年TBS卒業。現在、フリーのナレーターとして朗読ライブ活動を行う傍ら、法政大学自主マスコミ講座、TBSアナウンススクールなどの講師をされている。

ンホ尾崎、ゴルフ界には友人知人が数多いのですが、やはり山本浩二や田淵幸一といった野球界の方々にお会いすると、今もときめく思いです。それは応援歌とともに勝利に涙した、あの神宮球場に心が自然にタイムスリップしてしまうからです。

*中野好明さんは現在はフリーアナウンサー、日本ゴルフジャーナリスト協会員、インターネットブログを開設。http://blog.goo.ne.jp/yosi-takano/

朗読ライブの出前引き受けます。

藤田 恒美さん

(1966年社会学部卒)



法政大学には自主マスコ

いはフナウンサーを目指し

学生にとっては単位にならない講座であるが、マスコミを自指す熱い学生が大勢いる。その思

野球アナの夢からゴルフアナウンサーに

中野 好明さん

(1968年経営学部)

広告研究会に籍を置きながら大学での大半は神宮球場で野球の応援に精を出しておりました。

法政一高時代に野球選手への道を諦めていた私は、神宮で活躍する選手は憧れでもあり私の分身でもあったのです。

その日々の応援の情熱がやがて心の中に野球のアナウンサーへの夢と広がっていったのです。

今4社に席を置いてサラリーをいただいている。

昨年、日経に「人口減を生きろ」という特集が組まれ、私のことに触れていたが、古希を迎えてもこうした愚直なプロデューサー稼業で生きていくのは、法政の雑草体質が身に

ついていくからだろうか。

今、体力、気力、思いのある限り読みつづけた作品である。

*藤田恒美さんは1966年アナウンサーとしてTBS入社。広報部長を歴任後、2003年TBS卒業。現在、フリーのナレーターとして朗読ライブ活動を行う傍ら、法政大学自主マスコミ講座、TBSアナウンススクールなどの講師をされている。

ンホ尾崎、ゴルフ界には友人知人が数多いのですが、やはり山本浩二や田淵幸一といった野球界の方々にお会いすると、今もときめく思いです。それは応援歌とともに勝利に涙した、あの神宮球場に心が自然にタイムスリップしてしまうからです。

*中野好明さんは現在はフリーアナウンサー、日本ゴルフジャーナリスト協会員、インターネットブログを開設。http://blog.goo.ne.jp/yosi-takano/



野球アナの夢からゴルフアナウンサーに

中野 好明さん

(1968年経営学部)

広告研究会に籍を置きながら大学での大半は神宮球場で野球の応援に精を出しておりました。

法政一高時代に野球選手への道を諦めていた私は、神宮で活躍する選手は憧れでもあり私の分身でもあったのです。

その日々の応援の情熱がやがて心の中に野球のアナウンサーへの夢と広がっていったのです。

今4社に席を置いてサラリーをいただいている。

昨年、日経に「人口減を生きろ」という特集が組まれ、私のことに触れていたが、古希を迎えてもこうした愚直なプロデューサー稼業で生きていくのは、法政の雑草体質が身に

ついていくからだろうか。

今、体力、気力、思いのある限り読みつづけた作品である。

*藤田恒美さんは1966年アナウンサーとしてTBS入社。広報部長を歴任後、2003年TBS卒業。現在、フリーのナレーターとして朗読ライブ活動を行う傍ら、法政大学自主マスコミ講座、TBSアナウンススクールなどの講師をされている。

ンホ尾崎、ゴルフ界には友人知人が数多いのですが、やはり山本浩二や田淵幸一といった野球界の方々にお会いすると、今もときめく思いです。それは応援歌とともに勝利に涙した、あの神宮球場に心が自然にタイムスリップしてしまうからです。

*中野好明さんは現在はフリーアナウンサー、日本ゴルフジャーナリスト協会員、インターネットブログを開設。http://blog.goo.ne.jp/yosi-takano/

ドジャース球場の前で



地域支部・卒業生団体から

卒業生の皆さんの個人、地域・団体、クラス会、ゼミ、同窓会などからの積極的な投稿をお待ちしております。文字数250字以内で、多くの原稿を掲載するため一部原稿をリライトする場合があります。ご了承ください。（高根典文、水嶋雅之、宮本幸彦）

福井法友会

新井さん招き総会
吉田新会長を選出

福井県法友会の平成18年度（第27回）定例総会は8月26日、福井市のユアーズホテルフコイで開かれ、会員82人が出席した。春に本学へ社会人入学した女優の新井春美さん（キャリアデザイン学部一年）が特別参加し講演した。総会では任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に吉



田敏貞氏（昭和36年卒）を選出

富山法友会

「校友の集い」を開催

平成十八年十一月十一日（土）、とよま自遊館において、法政大学富山県校友会の「平成十八年度校友の集い」



懇親会では森橋セツ子常任

鎌倉法友会

地引網大会開催

恒例の鎌倉法友会地引網大会は10月1日（日）開催した。当日は、朝から小雨が降り、開催が危ぶまれたが、何とか実施できたところ。本音。この度も多くの会員の他、校友連合会の副会長、後援会副会長、各支部長等多数の方々の参加をいただき役員一同改めて感謝。今回の参加者も100人を越える大盛況で焼きそば、天ぷら、その他盛りだくさんの料理など作るほう



恒例の鎌倉法友会地引網大会

法友さくら会

有志が防衛庁見学

平成18年11月8日、午後13時30分法友さくら会（会長吉田昭典）以下有志多数による防衛庁（市ヶ谷台）の見学ツアーが行われた。当日は防衛庁・広報課の美人案内嬢による市ヶ谷台コースの説明が行われ、国内外VIPの歓迎式典に使用される儀仗広場から本庁舎を通過、現在記念館として保存されている旧陸軍士官学校、さらに戦時大本営陸軍部・参謀本部・戦後昭和21年東京国際軍事裁判の法廷として使用された大講堂や、三島事件でも有名になった市ヶ谷台記念館を見学、さくら会参加メンバーの内、往年の大先輩の方々には説明嬢の一言一言に感激し、頷いていた。広報課の自衛隊活動を示す展示室を見学、午後3時30分見学を終了した。この見学に協力いただいた防衛庁東部方面総監・齋藤



防衛庁見学

茨城県南支部

総会を開催

平成18年9月9日、茨城県南支部兼東海法友会総会が土浦京成ホテルで開催され、校友連合会大石副会長、水戸法友会大久保会長、大学後援会である進士大先輩（昭和13年卒）の元お元気の乾杯のご発声でスタート、目玉のイベントは、土屋幹事の紹介による勇壮な「下総栄太鼓の出演」迫力満点でアンコールが出るなど大変な盛り上がりになり、圧倒され感激がいっぱいでした。

鎌倉法友会

支部の歴史

鎌倉法友会を語るとき、忘れてはならないのが法学部教授で鎌倉にお住まいの児玉正勝先生である。先生のお人柄は今でも多くの校友に慕われていることは周知のとおりである。戦中の鎌倉には、鎌倉在住の空手の三橋文蔵・福井学兄、フェリス学院の斎藤二郎学兄、ラッキーの松笠学兄、応援団の福井学兄と鈴木茂先輩らの多くの先輩の現役時代に始まり、終戦で先輩方の復興・復学で一部若手学生を加えて、組織の充実が図られた。初代会長に児玉正勝先生



昭和37年頃の会合後の打ち上げ会（中央が児玉先生）

不定期で坂ノ下海岸での地引網、海浜での野球大会、東京六大学音楽大会を市中也増え、これらの方を受け容れるという主旨で、伝統（鎌倉法友会会長 中島和晃

（亡・78年9月）、副会長には乾孝先生、斎藤秀守先輩（亡・03年1月）が就任し、法政大学鎌倉会の活動も活発に展開するようになった。

一時役員の入替えが重なり低迷期間があったが、昭和46年末に有志による組織強化が図られ、翌年には新体制の鎌倉会が発足し、斎藤秀守先輩が二代目会長に就任された。

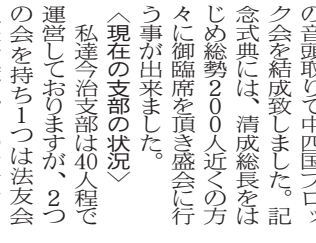
このような背景の中で、児玉先生を慕い緑のある鎌倉に、或いは行事参加の定着等による入会希望の方の会の存在が心から感謝するものである。

今治支部

支部の歴史

法政大学校友連合会今治支部は、昭和24年工学部創設に貢献された元工学部長加茂正雄教授が今治を訪ねたことを機に、校友21人を中心として今治支部を結成し、元支部長故矢野文氏宅「米長旅館」に於て、結成の宴をあげたのが始まりであります。昭和43年頃までは夏休みのお手伝い、家庭での前後、早朝の下ごしらえなどの理由と協力あつてこそ、今日で行われ、この機会を通してOBと現役学生との親睦交流の輪が広がっていた様に思います。

支部の皆さん元気です



支部の皆さん元気です

平成12年には今治支部結成50周年に当たり今治支部校友が一堂となり記念行事を行いました。時を同じくして故畠山氏の音頭取りで中四国ブロック会を結成致しました。記念式典には、清成総長をはじめ総勢200人近くの方々に御臨席を頂き盛会に行う事が出来ました。〈現在の支部の状況〉私達今治支部は40人程で運営しておりますが、2つの会を持ち1つは法友会（長老会）、1つはオレンジ会（若者会）であります。両会とも毎月1回集まり親睦を計っております。年一回（12月）総会時に両会一同が事務局の米長旅館

今井正七

経済学部1942年卒

古市実

経済学部1944年卒

上林克己

経済学部1951年卒

岩儀福祐

経済学部1951年卒

角田実

経済学部1951年卒

中島和晃

法学部1951年卒

吉田昭典

他 役員一同 経済学部1951年卒

大石勝康

経済学部1953年卒

大石勝康

経済学部1953年卒

大島雄次

（明治安田生命特別顧問）

今井正七

経済学部1942年卒

古市実

経済学部1944年卒

上林克己

経済学部1951年卒

岩儀福祐

経済学部1951年卒

よき師よき友
『わが母校の先輩たち』



06年の1月号で『活躍する経済界の実力者たち』を紹介した。今回は昨年の続編で、「文芸界」「美術界」「音楽・舞踊界」「演劇・芸能界」の校友である。これらのデータは、北海道・北広島在住の徳井久雄さん(1956年法政大学経済学部卒)調べによるもの。徳井さんは大学卒業後、札幌の地元デパートに就職して仕事をする中で、「法政の卒業生にどんな方が居られるのか? 他の大学の人はよく耳にするが、調べると驚いた、地元にもたくさん居られるではないか。それこそそうたる人物が」と調べ始めたのが、校友データを収集するきっかけとなったことである。「北海道には産業界だけでも300人の法政卒業生が活躍している」。法政の関連記事を収集し始めて50余年、データはあらゆる年鑑、書籍、雑誌、新聞などでデータを更新している。図書館通いも続けておられる。法政大学では、徳井さんのデータを基に「政界」「経済界」、「マスコミ界(新聞・放送出版・広告・評論家)」、「スポーツ界」などともに小冊子「各界で活躍する諸先輩たち」(A版12ページ)にまとめられ、06年度新入学生・父兄、05年度卒業生に配布された。今回はその中から一部抜粋である。(竹内實昭)

文芸界で活躍

法政文学の原点は1922年の法文学部創設である。法学部の中に文学科、哲学科が開校され80余年の伝統があり、その基礎整備には夏目漱石門下で、後に法政大学総長となる野上豊一郎博士が当たり、他大学とは異なる闊達で自由な学風を創造する風土を築いた。諸先輩を紹介する(敬称略)

安藤鶴夫(直木賞作家、池島重信(文芸評論家・法大教授)、石川利光(芥川賞作家)、石野径一郎(作家、乾孝(社会心理学評論家・法大教授)、今井潤(作家)、岩佐東一郎(詩人)、臼田亜浪(俳人)、

大教授)、竹島 将(バイオレンス作家、二反長半(児童文学)、中村武志(作家)、中山章八(作家)、原田種夫(作家・詩人)、平山三郎(文芸評論家)、福田定良(哲学者・法大教授)、藤田初日(俳人)、藤原 定(詩人・法大教授)、古川洋三(作家)、樹田啓三郎(哲学者・法大教授)、宮原無花樹(児童文学作家)、棕 鳩十(児童文学作家)、村松仙太郎(文芸評論家・いわき明星大教授)、村山英太郎(文芸評論家・明大教授)、森田雄三(作家)、数田義雄(作家・詩人)、安田 武(評論家)、尹 学準(文芸評論家・法大教授)。赤木かみ子(作家、児童文学評論家)、秋田大三郎(児童文学作家)、阿部昌夫(詩人)、阿部浪子(文芸評論家)、天野紀代子(文芸評論家・法大教授)、天彦五男(詩人)、飯嶋和一(作家・文芸賞受賞)、井口克己(作家・詩人)、池川禎昭(作家)、池田房雄(作家)、池田雄一(文芸評論家・作家)、市川清人(作家)、一番ヶ瀬康子(評論家)、糸井重里(コピーライター・作家)、稲場有(作家)、乾 尚(教育評論家・作家)、乾 浩(教育評論家・作家)、岩崎武夫(作家・国文学者、右近 稜(作家・詩人)、内田照子(文芸評論家・作家)、漆原智良(作家・教育評論家)、浦田敏三(作家・俳人)、遠藤寛子(作



家・児童文学評論家)、大石 圭(作家)、大類秀志(作家)、大越雪堂(歌人・書家)、岡 邦行(ノンフィクション作家)、岡村 隆(作家)、小笠原賢二(文芸評論家)、奥山英一(作家)、尾辻紀子(作家)、笠原 淳(芥川賞作家・法大教授)、梶木 剛(作家・文芸評論家)、片岡美智(評論家・仏文学者・京都大教授)、片桐一男(文芸評論家・青山学院大教授)、風巻紘一(作家)、梶原葉月(作家)、片野善章(作家)、勝又 浩(文芸評論家・法大教授)、上遠野浩平(作家)、門脇照男(作家)、金子秀夫(詩人)、金谷達仁(スポーツライター)、金原瑞人(児童文学者・翻訳家・法大教授)、川村 湊(文芸評論家・法大教授)、観世 広(教育評論家)、菊田 均(文芸評論家)、北尾トコ(フリーライター)、北原 双治(作家、北原文雄(作家・文芸評論家)、木村幸子(児童文学作家)、草部和子(作家・文芸評論家)、楠 亨子(児童文学作家、黒古一夫(文芸評論家・筑波大教授)、黒沢亜理子(文芸評論家)、久和崎康(作家・児童問題評論家)、小林茂夫(文芸評論家)、小林長太郎(作家)、小林哲夫(作家、駒尺善美(文芸評論家・法大教授)、斎藤次郎(教育評論家)、酒井弘司(俳句評論家)、阪下圭八(文芸評論家・東京経済大教授)、佐々木斐夫(文芸評論家・成蹊大教授)、篠綾子(作家)、下沢勝井(作家)、晋樹隆彦(歌人)、高崎隆治(文芸評論家)、高千穂 遥(SF作家、星雲賞受賞)、高橋忠治(児童文学作家・詩人)、高山文彦(作家・大宅ノンフィクション賞受賞)、武田真砂子(作家・オール読物新人賞受賞)、竹野雅人(作家・海燕新人文学賞受賞、田中優子(文芸評論家、紫綬章受賞・法大教授)、千葉 暁(作家、津川正四(作家・文芸評論家)、月本 裕(作家・坊ちゃん文学賞受賞、統橋利雄(児童文学作家、重田正一(作家、津山晋一(作家、戸塚 啓(SFスポーツライター)、遠矢徹彦(作家、戸部 良也(ノンフィクション作家)、徳山諒一(作家)、中西 芳朗(旅行文学作家)、中村青史(文芸評論家・詩人)、永江 朗(フリーライター)、中山 孝太郎(作家)、西山あつ子(童話作家、二宮

一男(随筆家・日本随筆家協会賞受賞、野辺慎一(作家、葉治英哉(作家・松本清張賞受賞)、長谷川 啓(文芸評論家)、羽田幸男(作家)、初野 晴(ミステリー作家・横溝正史ミステリー大賞受賞)、はままさのり(作家)、羽黒 昌(作家、春江一也(作家、比留間千稲(作家、藤沢周(芥川賞作家・法大教授)、藤田健二(作家、朴 春日(文芸評論家)、星野麦丘人(俳人)、堀江拓充(文芸評論家・法大教授)、松岡圭祐(作家)、松澤 昭(俳人)、松村美樹子(童話作家、松本健一(作家・評論家・麗澤大教授)、三神 弘(作家、溝口 章(詩人)、宮地佐一郎(作家・詩人、宮乃崎桜子(作家)、村上慎一(作家、村上直(文芸評論家・法大教授)、村上ひさ子(作家・オール読物新人賞受賞)、竹野雅人(作家・海燕新人文学賞受賞、田中優子(文芸評論家、紫綬章受賞・法大教授)、千葉 暁(作家、津川正四(作家・文芸評論家)、月本 裕(作家・坊ちゃん文学賞受賞、統橋利雄(児童文学作家、重田正一(作家、津山晋一(作家、戸塚 啓(SFスポーツライター)、遠矢徹彦(作家、戸部 良也(ノンフィクション作家)、徳山諒一(作家)、中西 芳朗(旅行文学作家)、中村青史(文芸評論家・詩人)、永江 朗(フリーライター)、中山 孝太郎(作家)、西山あつ子(童話作家、二宮

音楽・舞踊界
で活躍

小原重徳(バンドリーダー・指揮者)、河野隆次(ジャズ評論家)、武内正夫(現代舞踊協会理事長、富田秀富(音楽評論家、長津義司(日本作曲家協会理事長)、中山大三郎(作詞・作曲家・日本作詞大賞)、中山義夫(中山民族舞踊研究所家元、南 広(バンドリーダー・ドラマー)、平岡昭章(作曲家、相沢秀禎(サンミュージックプロダクション社長、池田ロク(現代舞踊協会・全日本舞踊連合会常務理事)、上原ひろみ(ジャズピアニスト)、大門一世(歌手、KAN(シンガーソングライター)、川上順子(シャノン歌手)、河端 茂音(評論家、合田 悟(ミュージシャン・リンクヘッド)、甲本ヒロト(ロック歌手)、佐野公男(音楽評論家、三条正人(歌手・レコード大賞歌唱受賞)、島崎長次郎(音楽評論家、庄野真代(歌手、鈴木庸一(作曲家、添田寿夫(邦楽評論家・日本舞踊評論家、田中星児(歌手)、成田邦彦(歌手、サキ・キンクトーンズ)、福井 功(NHK交響楽団トランペット奏者・指揮者)、星野明弘(音楽評論家・星野写真芸芸社長)、みなみらんぼう(シンガーソングライター)、Micro(ミュージシャン・「Def Tech」)。

演劇・芸能界
で活躍

秋月桂太(劇作家、一龍斎貞丈(講談協会会長)、岩本通雄(文化映画社長)、内田良平(俳優、大垣肇(劇作家、太田皓(映画プロデューサー)、小澤不二夫(演出家)、河上英一(映画・演劇評論家、河原崎次郎(俳優)、岸田 森(俳優)、小西俊夫(につつま関西支社長)、小森 白(映画監督、佐々木康(映画監督、佐々間茂高(演出家、佐藤 武(映画監督、十朱久雄(俳優、東郷静男(演出家、中野 実(劇作家・小説家、根上 淳(俳優、宝生弥一(人間国宝・能ワキ方)、松井 稔(シナリオライター・映画監督)、松村達雄(俳優)、三島雅夫(俳優)、水島亮太郎(俳優、湯浅 恵明(映画監督、竜崎 勝(俳優、青島千穂(アティスト)、青山知可子(女優)、浅見真州(能楽師・紫綬章受賞)、東健一郎(俳優、新 克利(俳優)、飯塚雅男(女優)、市川 勇(俳優、伊藤淳史(俳優、井上梓一(シナリオライター)、井上倫宏(俳優、今井雅之(俳優)、岩本恭生(タレント)、内山森彦(俳優、遠藤盛章(映画ジャーナリスト)、大熊啓吾(タレント・コメディアン)、大滝 寛(舞台俳優、太田有美(女優)、大森うたえもん(タレント)、小野田由紀子(女優)、小川秀平(映画プロデューサー)、片岡五郎(俳優)、金井裕子(女優)、北川米彦(声優)、北里宇一郎(映画監督・脚本家、北島春信(児童劇作家、北原奈々子(女優)、木下秀成(タレント)、金原章伯榮(落語家)、黒部幸英(タレント)、台戸 陽(シナリオライター)、神津友好(演

法政大学校友連合会札幌支部

支部長 伊藤 信 賢

電話〇一一二五一一一七七

株式会社 荏原製作所

執行役員 高野 稔

経済学部1975年卒

有限会社 京葉庄接

経済学部同窓会広報部

取締役社長

垣本 一 雄

経済学部1978年卒

法政大学校友連合会岡山県支部

支部長 西 康 宏

電話〇八六一二四一五四六一

法政女子高等学校同窓会

女子高同窓会室

電話〇四五五七一四一三六

順不同

芸・放送作家、故林広志(台本作家・演出家)、小山真弓(シナリオライター・作家、酒井 昭(俳優)、佐々木勝彦(俳優)、坂本良介(俳優)、佐々木るん(タレント)、里村孝雄(俳優、沢登 翠(活動弁士、三遊亭橘つき(落語家)、篠塚 勝(俳優、杉本信昭(映画監督、関 敬六(俳優)、園 子温(映画監督・脚本家、たかお鷹(舞台俳優)、田中健三(俳優)、堤 幸彦(演出家、富谷 洋(映画評論家、中村京蔵(歌舞伎俳優、中村芝翫(人間国宝・歌舞伎俳優、長沢 純(歌手・タレント)、梨元 善信(映像京都社長、西川信廣(舞台演出家・演出

※データ取材 徳井久雄

新春 箱根駅伝を応援しよう

法政大学駅伝友の会事務局 鈴木 嘉能

《第83回箱根駅伝》は1月2・3日東京・箱根間10区から正確に21チームがスタートする。友の会が応援旗1200旗を用意して、各支部・グループ・個人からの要請に対応しています。今回から大手町地点に横断幕・幟旗・大小手旗を用意して、多くの同窓の参集を待っています。沿道 ポイント地域の応援体勢は充実して、各々の組織体の方々は従来どおりお願いします。

法政大学駅伝友の会は「母校法政大学を愛し、箱根駅伝の優勝を願って集まった同窓のファン」です。先輩後輩の格差もなく、ひとすべ優勝を夢見て母校駅伝チームにエールを送り続けています。会員の中から駅伝の思い入りの強い方が各々の担当幹事になっています。

JR二宮駅前で箱根駅伝の応援を

近年毎年1月2日JRを依頼、初めは受取りを東海道線三宮駅（横浜銀）困惑していた人々も笑いながら受取り、法政選手が目の前を通過するに熱い応援を行って集、母校の駅伝選手に熱い応援を行って。これは東京都・相模原校友連合会の方々と山崎湘南支部長を中心とする、有志の人々で沿道に集まる駅伝ファン若男女、誰彼かわず有志の方々が持参したみかん・せんべい・もちを配り、法政の応援を依頼している。他校の応援にきている人々も、みかん・もち・せんべいを配り応援（61年経済卒 水嶋雅之）

通6陸上競技部及び駅伝チームの激励会・強化資金の贈呈の寄付金をお願いが主で、営業・売名行為は遠慮していただきます。駅伝友の会 は母校1 出雲大学選抜駅伝 七位入賞 駅伝友の会は、新デザインの新旗500本・横断幕20枚・手旗（大）（小）を新しく作り、その中から横断幕10枚・幟旗100本・手旗（小）を島根・鳥取地区後援会支部長の朝津さんに送り、現地所有の幟旗50本も合わせて現地校友・後援会会員達が手分けしてマラン路上に張り廻つてくれた。晴天の出雲路に合計150本の幟旗がひらめく中、選手は各所の声援を受け懸念に力走。TVに法政の旗とともに輝いた。競争終了後、後援会主催の「そば・パティ」大会主催の出雲ライナリー「さよならパティ」法政大学校友連合会島根・鳥取支部主

26年の伝統の一端を担って多くの同窓が集い、大きな輪が出来て更に発展をして、箱根駅伝・出雲駅伝・伊勢駅伝の優勝を目指して応援を続けます。

卒業生の集い沖縄大会の初日10月27日に、沖縄の名門コース琉球ゴルフ・クラブで懇親ゴルフ大会が開催された。本土からの参加者の多くは、那覇空航に到着したその足でコースに駆けつけ、着替えてすぐティグラウンドに立つなど、18組72人が暑い太陽のもと、一球一打に一喜一憂しながらクラブペリア方式でプレーを楽

恒例のオール法政ゴルフ大会が、雨模様の中九月十四日（木）、千葉県のキングフィールドゴルフクラブで盛大に開かれた。参加者は178人にもなったが、混雑もなくスムーズに終了することができた。終了後は、豪華なパーティ

優勝 安仁屋泰勝（沖縄） 34・40（74 BG） 準優勝 山田正宣（沖縄） 40・40（80） 第3位 鹿山秀佳（校友連合会） 36・43（79） 第4位 溝部新二（大分支部） 41・38（79） 第5位 山本博史（大阪支部） 44・44（88） クロス2位 三浦徹（宮城支部） 39・38（77）

長谷川康浩さん、主催した事業委員会の皆さん、ありがとうございました。59年社会学部卒 鹿山秀佳 成績は次の通り。 優勝 津島 優 （航空部OB） 準優勝 塩田 真博 （ゴルフ部OB） 第三位 青山 信彦 （工体連スキー部OB） ベスコロ 鹿山 秀佳 （37・41（78）

2006年、国際協会の認定状を取得し、5項目の記念事業を掲げ奉仕活動を行った。 ①献血活動奉仕 5大学合同で明治大学駿河台校舎に集合、大勢の若い学生さん達から献血を戴き予想以上の成果を挙げ、日赤献血センターに奉仕した。 ②靖国神社の境内清掃奉仕 春秋2回に亘り東京スバルLCと共催し総勢50余人で清掃奉仕を行った。写真 ③留学生との交流活動を支援 留学生を法大アメフト部リーグ決勝戦の観戦と

計りたく、是非とも卒業生各位の、世界に誇るライオンクラブへのご入会をお願い申し上げます。 お問い合わせは事務局03(3264)1831。 （法政LC会長 長谷川康浩）

法政の誇る研究所紹介

法政大学大学院エイジング総合研究所

現在5人に1人が65歳以上の高齢者ですが、30年後には3人に1人が高齢者になるといわれています。年金・医療・介護といった日本の社会保障制度は今のままでは高齢化に対応しきれないため、高齢化対策は21世紀の日本が抱える最重要課題となっています。しかし、高齢化は日本だけの現象ではなく、欧米先進国や東アジア諸国でも同様の問題が発生していま

研究（日本・中国・韓国）は、2003年度の文部科学省・私立大学学術研究高度化推進事業（学術フロンティア）に採択され、5年間にわたる研究活動が進め

初めの全国女子大学ゴルフ対抗戦、大会2日目の最終日、寒い、六月の北海道。前日の好天と違って変わって雨と霧、18番ホールグリーンサイドで待つ監督、コーチ、仲間達が震えて見守る中、選手達が次々とホールアウトして駆け寄り、結果を聞き、健闘を称え、感慨を深く、よくここまで頑張った成績を残してくれたと大変うれしく、頼もしく思った。

女子ゴルフ部健闘 法政大学体育会ゴルフ部監督 本間 周一

学ゴルフ対抗戦の出場権を得る事が出来た。個人戦においても、関東女子学生ゴルフ選手権に6名出場した。何と上位16名のマッatchプレーに2名が入り、内一人が準決勝まで進

祝・関東大学選手権4連覇！ 12月3日決勝戦で慶大と対戦49対13で圧勝、4連覇！ 関東大学選手権15度目の優勝を勝ち取った。今後の日程 勝ち取るぞ 甲子園ボウ

アメリカンフットボール部 選手一同、甲子園ボウルを制し、ライスボウルを勝ち取るぞ！と意気軒高。校友の皆様の絶大なる応援をお願い申し上げます。（OB会長 大石勝康）



2005年8月、中国・上海の復旦大学で「東アジアにおける高齢化問題に関する国際シンポジウム」が開かれた。（復旦大学経済学院との共催）。



第5回「総長杯」178人参加 オール法政ゴルフ大会開かれる



活躍目覚ましい！ 東京法政ライオンズクラブ

学生の仕事観を育てる キャリアデザイン

梅崎 修

他人のキャリアを マンガで学ぶ?



法政大学に日本初のキャリアデザイン学部が開設されてから4年目を迎えた。4年目と言えは第一期生が4年生になったので、完成年度である。2年前に開設された大学院(キャリアデザイン専攻)とともに全学年で学生が揃ったわけである。

キャリアデザインという横文字を聞いて、卒業生の皆さんはびっくりされたかもしれない。そもそもキャリアという言葉は、中世ラテン語の「轍」を起源とし、競技場におけるトラックを意味する。そこから、人がたどる経歴や人生の足跡が意味するようになった。そう考えると、人生をデザインするという名前の学部で教員を任されるのは、なかなか荷が重い仕事だといえる。職業経験が少ない学生た

成果は『マンガに教わる仕事学』(ちくま新書)としてまとめることができた。

たとえば、ビジネスマンガにみる40人の仕事人生

と、そんな地道な作業の繰り返しで学生たちの仕事観を育ててくれるのである。

阿蘇山、熊本城、水前寺公園。費用8万9千9百円(全食事つき)定員40人(先着順で締め切り)。担当・馬島090・7826・0116。

日本銀行の見学とイタリア料理

世界遺産「アンコールワット」と「ポーチミン」6日間の旅

自由散策

山ノ手七福神めぐりはいかが。

写真に寿老人

教職員と 卒業生の思い実る

——マスコミ界に8000人

開講20周年迎える 自主マスコミ講座

1988年に開講した法政大学自主マスコミ講座も今年で20周年を迎えます。この講座は、1人でも多くのマスコミ人を輩出したいという教職員と卒業生の思

いから始まりました。スタート時は「アナウンサー」と「一般」という2つのコースで学生数も30人程度だったのが、今では全7コース、学生数は約2400人まで大きく増えました。最近では自主マスコミ講座に入りたいために、法政大学を受験する高校生もいるほど学外で注目されるようになってい

ています。これまで様々な面でご支援をいただき、感謝申し上げます。20年という節目を迎えましたが、これからも多くのマスコミ人を輩出するべく、より良い講座を目指して努力していきたいと思

マスコミ・オレシジ会
1月30日(火)開催

学友と参加
しませんか?

法政創立者の地訪問
杵築と国東半島、湯布院、大分法友会との交流

ヨット部と八景島
を楽しむ

自由散策

山ノ手七福神めぐりはいかが。

写真に寿老人

新年間(1912〜26)布袋屋呉服店(現伊勢丹)の人形研究家坂本太郎は昭和9年大久保の中村正策の発案といわれており文化財に指定された尊像もいくつかあつてなかなかの巡路といえる。

どこからでも参拝は自由だが、お薦めは地下鉄新宿三丁目駅から10分・太宗寺(布袋尊)↓30分・稲荷鬼主神社(恵比須)↓30分・永福寺(福祿寿)↓20分・法善寺(寿老人)↓10分・抜弁天(厳島神社・弁財天)↓30分・経王寺(大黒天)や40分・神楽坂にある善国寺(毘沙門天)へのタウノウオッチングを兼ねた徒歩でのコース。所要時間は約4時間。正月に限らず年間を通じて参拝(午前9時から午後5時)を受け付けているが稲荷鬼主神社、抜弁天のご開帳はない、また経王寺のご開帳は1月7日まで。



これまで多くの学生が講座を受講しましたが、現在では8000人(内アナウンサー1100人以上)を超える講座出身者を輩出し、全国のマ

マスコミ界に8000人

マスコミ・オレシジ会
1月30日(火)開催

学友と参加
しませんか?

法政創立者の地訪問
杵築と国東半島、湯布院、大分法友会との交流

ヨット部と八景島
を楽しむ

自由散策

山ノ手七福神めぐりはいかが。

写真に寿老人

新年間(1912〜26)布袋屋呉服店(現伊勢丹)の人形研究家坂本太郎は昭和9年大久保の中村正策の発案といわれており文化財に指定された尊像もいくつかあつてなかなかの巡路といえる。

どこからでも参拝は自由だが、お薦めは地下鉄新宿三丁目駅から10分・太宗寺(布袋尊)↓30分・稲荷鬼主神社(恵比須)↓30分・永福寺(福祿寿)↓20分・法善寺(寿老人)↓10分・抜弁天(厳島神社・弁財天)↓30分・経王寺(大黒天)や40分・神楽坂にある善国寺(毘沙門天)へのタウノウオッチングを兼ねた徒歩でのコース。所要時間は約4時間。正月に限らず年間を通じて参拝(午前9時から午後5時)を受け付けているが稲荷鬼主神社、抜弁天のご開帳はない、また経王寺のご開帳は1月7日まで。

映像制作・(VTR)ロケーション・編集・録音・納品
印刷・企画・レイアウト・校正・納品
航空写真・セスナ機・ヘリコプター常備会社と提携
スチール写真・報道からコマーシャル等写真撮影全般
コンピューター・ホームページコンテンツ企画・作成

株式会社 カンノン社 (創業37年)
〒105-0004 東京都港区新橋2-15-5 TEL.03-3501-1888
E-mail:kannon-sha@nifty.com
代表取締役 水嶋雅之(昭和36年 経済学部商業学科卒)
校友連合会・広報委員会委員・法友会常任幹事・湘南支部会

自然との調和。NISHIMATSU

自然環境を大切に。
私たちは快適な
空間を創造します。

自然と人との共生。快適な空間の創造。
それは、次世代に受け継がなければ
ならないテーマです。
私たち西松建設は、このテーマを基に、
これからも、自然と技術が融合する
環境づくりを目指します。

毎日ふれあう技術
西松建設

〒105-8401 東京都港区虎ノ門1丁目20番10号 電話 03(3502)0232 http://www.nishimatsu.co.jp/

人間コンテスト挑戦

航空工学研究会
安達大河

(工学部機械工学科2年生)



大学祭で機体を表示するために、鳥人間コンテストで実際に飛んだ機体を修復してやるつもりです。機体製作のノウハウを学ぶために、主に二年生が主体となって機体の修復をしました

そのため、今回はぜひ、05年の106・85mの過去最高記録を更新し、優勝の夢をかなえたかったです。が、残念な結果に終わってしまいました。

07

少年野球教室に308人参加

体育会野球部金光監督と選手22人が指導

硬式野球部 平成18年度 卒業生就職先			
氏名	守備	学部	進 路
荒瀬 啓介	投	人間環境 学部	三菱重工名古屋
鶴岡 慶治	投	法学部	JFE西日本
錫木 貴	投	法学部	三菱三原 硬式野球クラブ
平塚 隆	投	経営学部	札幌ニッタ自動車
竹野 康治郎	投	文学部	朝日放送
秋葉 真	投	経営学部	オリックス
大木 真樹生	投	経済学部	サカイ建設
山田 裕三	捕	経営学部	三井生命
大引 啓次	内	法学部	プロ野球・オリックス
西川 明	内	法学部	プロ野球・中日
前原 祐彦	内	経営学部	七十七銀行
織木 伸之	内	文学部	大和高田クラブ
佐藤 安樹	内	法学部	アメリカンサービス
田中 裕太	内	人間環境 学部	明治神宮外苑
平口 将也	内	キャリア デザイン 学部	アマノ
福島 洋則	内	法学部	総合警備保障
野崎 光太郎	内	経済学部	大和証券
沢見 大和	内	経済学部	住友生命
廣中 隆太	内	法学部	三菱東京UFJ銀行
金丸 勝太郎	外	文学部	日産自動車
秋本 竜平	外	文学部	富士重工業
須藤 宗之	外	経営学部	新日本石油ENEOS
濱田 和昭	外	経営学部	レモール
荒井 秀俊	外	法学部	三菱東京UFJ銀行
小堀 雄輝	外	社会学部	アメリカンファミリー 生命保険
貞清 敦史	マネ ジャー	文学部	島津製作所
田中 野	マネ ジャー	工学部	大和ハウス

口野球ドラフト指名を受けた大引啓次選手（オリックス）、西川明選手（中日）が一段と大きな拍手を受けた。

全員で準備体操後、金光監督がメガホンを手を指導開始。参加者は、野球部員による模範演技を見ながら、アップ、トスバッティンク、ポジション別守備練習などのメニューを真剣に取り組んだ。同監督は、時に児童と対話をしながらユニフォームを交えて教えた。

神宮球場にオレンジカラーの 人の輪を

法政、おかわが母校！
 野球部、応援団で頑張っ
 ている子供たちを応援しよう
 と立ち上げた会が、お陰様
 で、会は運営委員の合議制
 で開催してきました。

で、07年10周年を迎えることになりました。校友、教職員、後援会を問わず、会の趣旨に賛同、共鳴し、法政が限られた予算の中で、野球部、応援団を支援すると共に、春、秋の年2回、野球を知らない国の留学生に宿ったとか。この想いを神宮の柱にたまる校歌が、どれほど法政人の魂に宿ったとか。この想いを運営しています。

スガ政権を獲得し、さらに39年には第2次世界大戦がはじまるのである。「青年日本号」の訪欧飛行は、そんな時代の到来を前に、歴史の晴れ間を縫って行われた「世紀の壮挙」ということができたろう。



緒に応援したり、また、手作りに会報を発行して、法政大

に、「法政ここにあり」と青春を謳歌する子供たちにエールを送り続けたいと願っています。

オール法政神宮友の会
代表委員 事務局担当
有村 恵子

文中で、とくに出典をあ

げていない資料の引用は、
 法政大学大学史編纂室が、



教育部事務局長事務取扱、工

学部事務所長などを歴任）の提供を受け、所蔵する「訪欧飛行記録」ならびに「昭和六年（一九三二）五月十九日・八月三十一日」と題する資料の複写版による。

蔵小杉商店会三朋心会の会長さんと一緒に応援に来て下さった地元の子ビッコちゃん達



(大学史編纂室・明田川融)

留學生招待デーに応援に
来て下さったフランス、
中国からの学生さん

オール法政神宮友の会
代表委員 事務局担当
有村 恵子

に、「法政ここにあり」と青春を謳歌する子供たちにエールを送り続けたいと願っています。

歌が、どれほど法政人の魂に宿ったことか。この想いを胸に、これからも、皆兼と共

で、会は運営委員の合議制で運営しています。

好き仲間の輪を広げてまいりました。

カラーの
政神宮友の会

に児童と対話をしながらユニモアを交えて教えた。

ング、ポジション別守備練習などのメニューを真剣に

金丸	勝太
秋本	竜平
須藤	宗之
濱田	利昭
荒井	秀俊
小堀	雄輝
貞清	敦史
田中	綾

外	文学部
外	文学部
外	経営学部
外	経営学部
外	法学部
外	社会学部
マネー ジャー	文学部
マネー ジャー	工学部

日産自動車
富士重工業
新日本石油ENE
レモール
三菱東京UFJ銀
アメリカンファミ
生命保険
島津製作所
大和ハウス

	S
	F
	-

ひとつの情報 多彩に活用
株式会社 きかんし

[本社] 105-0003 東京都江東区辰巳 2-8-21
TEL 03-5534-1234(代) FAX 03-5534-1235
〈URL〉<http://www.kikanshi.co.jp>

[法政OB]		
代表取締役社長	会田 勇	(文学部 '68卒)
取締役企画営業部長	島村 和良	(社会学部 '75卒)
取締役営業部長	夏目 安男	(経済学部 '72卒)
企画営業部次長	小林 昭夫	(工学部 '77卒)

PILOT

Quality Writing Instruments Since 1918

「書く文化」を、次代に伝えるために。

文字を書くことは、よく考えることである。
自分を見つめることであり、他の人を思いやることである。
その意味で、「書く」ことは、最も人間の営みのひとつであり、
「文化」の根幹であると言えます。
パイロットは、商品づくりを通じて、
我が国のみならず、広く世界の
「書く文化」の礎でありたいと思っています。

代表取締役社長 高橋 清

株式会社パイロットコーポレーション
〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21
TEL. 03-3538-3700(大代表) <http://www.pilot.co.jp>



大いに盛り上がる札幌フェア

face to faceの法政フェア開催 in広島、in札幌 大盛況で閉幕

大学・校友連合会・後援会の共催で、「リーディングユニバーシティ法政」のブランドを大学内外に強くアピールするためface to faceの「法政フェア」が広島と札幌で開催された。(写真提供: 総長室・広報公聴課)



野球談義で華咲く広島フェア



千人の学生、在学生・卒業生の父母、教職員を中心にコミュニティの連結力強化、「法政」ブランドのアップグレードを行う場のプロデュースに狙いがあり、その

「法政フェア」は、全国型を目指している大学を広く地方の方々にも知っていただき、卒業生をはじめ多くのステークホルダーに体感してもらうことを目的に06年から始めた一大イベントです。

38万人の卒業生、2万6千人の学生、在学生・卒業生の父母、教職員を中心にコミュニティの連結力強化、「法政」ブランドのアップグレードを行う場のプロデュースに狙いがあり、その



この度、法政フェアが広島市に続いて9月10日、札幌市内のホテルニューオータニで開催されました。我が母校法政大学が、他の大学に先駆け、新しい大学のあり方を提言し改革を行ってきた姿を伝える新しい試みである法政フェアが、北の大地札幌市で開催された事は、誠に意義深いものがあります。

第一弾が「in広島」として、06年8月27日に広島市のホテルグランヴィア広島に2500人が参加。講演やトークショー、交流、懇親を深めた。主なプログラムは「Uターン就職ガイド」「入試ガイド」「スポーツ対談」

と多彩な内容で盛り上がりを見せた。9月10日には「in札幌」が開催され、約3000人が参加。講演やトークショー、交流、懇親を深めた。主なプログラムは「Uターン就職ガイド」「入試ガイド」「自主マスコミ講座出身の座談会」「地元OB高校教員と

友もこれに迎え北海道後援会の皆様と共に予想を上回る多数の参加者を見ました。とくに北海道は東京から

第1回「法政フェア」が、8月27日広島で開催された。初回はなぜ広島だったのかよく分からないが、大学主導ということで校友連合会広島支部はどう対処すればいいかとまどいがあった。それを正したのは、田中宗七総務部長の熱意。なん回も来広、窓口となった私のところへは、1カ月半にわたって毎日のように電話でやりとり、お互いに十分に理解、広島支部も全面協力に至った。

誇りと勇気を享受す
進取の気象よき校友
校友連合会札幌支部長
伊藤 信賢

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美

母校は心のふるさと
広島支部で全面協力
校友連合会広島支部長
花本 政美



田北昭二大分支部長の発声で「乾杯!!」

懇親会は同場所において午後6時15分から開催された。会場は人々で埋めつくされた。まずは歓迎の挨拶が、翁長雄志那覇市長(昭和50年法卒)よりあった。続いて乾杯のご発声が北海道支部の皆様、田北昭二大分支部支部長(連続14回参加)より威勢よく「乾杯」、沖縄「かりゆしシスターズ」の皆様による舞踊で懇親会の幕開けとなった。アトラクションは地元沖縄より、「かりゆしシスターズ」の琉球舞踊、「日出

沖繩の食と伝統芸能に満喫 大懇親会

り、大会は最高潮に盛り上がった。最後に校歌を斉唱して、8時30分過ぎに閉会となった。(取材・高根／写真・斉藤、高根)

郷土芸能に拍手

日出克のオンステージ

出席された方に聞きました
母校愛とパワーを実感
吉田義夫さん
熱気溢れる会場を前にあらためて卒業生の母校愛とパワーを感じ沖縄に来て良かったと実感した。
歴史と文化に満ちた「沖縄大会」は大学と卒業生の絆を一層深めた意義深い大会であった。沖縄支部の努力に心から感謝し大阪大会の成功を祈念したい。
(64年経済学部卒・富山市)

懇親会の乾杯に感激

金田 忠さん

充実した内容に感銘を受けました。これで日本列島も北から南まで、固い絆で結ばれた。懇親会での乾杯

第14回 法政大学全国卒業生の集い 沖縄大会 開催

全国各地から360人が参加

母校の発展を願う

第14回大会「沖縄大会」が10月27日(金)～29日(日)にかけて、那覇市において開催された。北は北海道から11人もの出席があり、全国各地から多数の卒業生がこの大会のために参集した。大会は式典・記念講演、懇親会を中心にエクスカーションがあり、沖縄の特色を取り入れた、記念すべき大会となった。次回開催は、2007年10月に大阪で開催されることに決定した。

沖繩色豊かな演出で

大会式典・記念講演

大会式典は10月28日午後13時から、那覇市「沖縄ハ



照屋一郎大会実行委員長の歓迎の挨拶

「バービュホテル／彩海の間」にて開かれた。司会者は古川貴裕さん(沖縄テレビアナ／平成8年社会学部卒)、野原しずかさん(元琉球放送アナ／平成4年文学部卒)の2人で進められた。まずは開会宣言が宮里昭也実行委員長よりあり、法政アライオンコールと校歌斉唱、物故者に黙祷。次に主催者を代表して岩部金吾大会会長(校友連合会会長)より「沖縄は法政在校生が94人、卒業生を合わせると700人にも

及びます。その意味で大会が開催出来た事に感動と感激をおぼえます」と挨拶があった。続いて照屋一郎大会実行委員長(沖縄県支部長)が「今大会のおかげで、皆様の仲間入りが出来まして大変嬉しく思います」と歓迎の挨拶。来賓として、稲嶺恵一沖縄県知事(代理)、平林千牧大学総長、斧田賢一後援会会長をお迎えしてそれぞれ祝辞をいただいた。



大会旗の返還(沖縄から本部へ)

と決定した。大会旗が沖縄より大阪に渡され、古市實大阪支部長より代表挨拶があった。最後に記念挨拶で沖縄支部副支部長より、閉会の言葉があり、大会式典は終了した。式典終了後の午後4時15分より記念講演が開かれた。演題を「沖縄と長寿と食」と題して、西大学院院長・西大八重子氏が沖縄の食文化について映像を駆使し興味深いお話を約1時間にわたり講演された。

第15回大会はOSAKAです「めんそーれ」沖縄から「おいでやす」大阪に

大会日程 2007年10月5日(金) 6日(土) 7日(日)
大阪大会事務局 大阪市浪速区難波中1-6-8 (ホテル一栄内)
電話 03-6641-3135 FAX 06-6633-5949
大会会場 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

校友連合会

小林一久副会長の辞任にともない、安藤文雄理事が副会長に就任、総務担当となる。また、坂本順子さんが事務局長に任用された。

役員会・委員会記録

(2006・7・11～2006・11・30)

役員会	第4回	06年8月5日
役員会	第6回	06年7月24日
役員会	第7回	06年9月20日
役員会	第8回	06年10月6日
委員会合同会議	第2回	06年7月19日
委員会合同会議	第3回	06年9月8日
総務委員会	第8回	06年7月3日
総務委員会	第9回	06年8月29日
総務委員会	第10回	06年10月3日
総務委員会	第11回	06年11月20日
組織委員会	第12回	06年7月20日
組織委員会	第13回	06年9月21日
組織委員会	第14回	06年10月16日
組織委員会	第15回	06年11月14日
財務委員会	第11回	06年7月21日
財務委員会	第12回	06年8月24日
財務委員会	第13回	06年9月25日
広報委員会	第30回	06年7月1日
広報委員会	第31回	06年7月6日
広報委員会	第32回	06年7月8日
広報委員会	(30・32回は出張校正)	
広報委員会	第33回	06年7月27日
広報委員会	第34回	06年9月6日
広報委員会	第35回	06年9月11日
広報委員会	第36回	06年9月27日
広報委員会	第37回	06年10月6日
広報委員会	第38回	06年10月19日
広報委員会	第39回	06年11月1日
広報委員会	第40回	06年11月8日
広報委員会	第41回	06年11月15日
広報委員会	第42回	06年11月17日

事業委員会

事業委員会	第14回	06年7月6日
事業委員会	第15回	06年7月15日
事業委員会	第16回	06年7月22日
事業委員会	第17回	06年8月12日
事業委員会	第18回	06年9月2日
事業委員会	第19回	06年10月9日
事業委員会	第20回	06年11月9日
会則検討委員会	第1回	06年7月18日
会則検討委員会	第2回	06年8月2日
会則検討委員会	第3回	06年10月5日
会則検討委員会	第4回	06年11月1日
同窓会懇談会	経営学部同窓会	06年9月28日
同窓会懇談会	法学部同窓会	06年10月2日
同窓会懇談会	工学部同窓会	06年10月19日
同窓会懇談会	経済学部同窓会	06年10月23日
同窓会懇談会	文学部同窓会	06年10月24日
同窓会懇談会	社会学部同窓会	06年10月30日

編集後記

▼やわらかに時は過ぎていく。母校を卒業してから幾年月、外灘から望む市ヶ谷キャンパス、神楽坂の路地、玉川上水近くの小金井キャンパス、多摩丘陵に広がる多摩キャンパス。新春対談にあるように大学の教育改革は進み、研究施設、教育環境も年々素晴らしいものになっている。▼他大学に先駆けて設置されたキャリアデザイン学部。どのような教育なのか、仕事学の一端を9面で紹介した。▼本紙の部数は22万部。大学の好意で卒業生に郵送される。▼会報編集では、広報のメンバーに加えて多くの方々の実務協力をいただいた。石川郁二、高根典文、矢田義徳、鹿山秀佳、宮本幸彦、斉藤利彦、伊藤正義、原田和夫、水嶋雅之、栄毅敏、坂本順子、桜井義雄の皆さん。▼新しい年が平和で幸多かれと祈ります。(竹内實昭)

訃報

●松本雪生さん(茨城県南法友会・元大学評議員) 06年6月17日逝去。56年経済卒。
●保谷高範さん(東京多摩支部支部長) 69歳。06年8月27日逝去。61年経済卒。